

令和5年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立吉田中学校

1 自己評価書

| 教育目標 豊かな人間性を持ち、地域とともに歩む生徒の育成 | | | | | | |
|--|---|--|------------|----|----|--|
| 基本方針 1 家庭・地域との連携を更に進め、家庭・地域から応援され、信頼される学校づくりを目指す。 2 知、徳、体のバランスがとれた「たくましく生きる力」を育む学校づくりを目指す。 3 一人の人間として互いに認め合い高め合いながら、一人一人がよりよく生きる学校づくりを目指す。 4 全教職員が高い志と実践的指導力を持ち、教育愛にあふれた学校づくりを目指す。 | | | | | | |
| 本年度重点目標 1 応援され、信頼される学校づくり 2 「たくましく生きる力」を育む学校づくり 3 互いに認め合い高め合う学校づくり 4 高い志と実践的指導力のある組織による学校づくり | | | | | | |
| 評価項目 | 評価小項目 | 評価の観点 | 評価資料 | 評価 | 評価 | |
| 確かな学力の定着と向上 | ① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用 | 自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。 | ・分析資料の作成 | B | B | |
| | | | ・具体的な対策の実施 | B | | |
| | ② 授業改善 | 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。 ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。 | ・教師アンケート | A | A | |
| | | | ・保護者アンケート | A | | |
| | | | ・生徒アンケート | A | | |
| | ③ 家庭学習の充実 | 家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等) | ・教師アンケート | A | B | |
| | | | ・保護者アンケート | C | | |
| | | | ・生徒アンケート | C | | |
| | ④ 読書活動の充実 | 読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。 | ・教師アンケート | C | D | |
| | | | ・保護者アンケート | D | | |
| | | | ・生徒アンケート | D | | |
| | ⑤ ふるさと学習及びESDの推進 | 社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。 | ・教師アンケート | A | A | |
| | | | ・保護者アンケート | A | | |
| | | | ・生徒アンケート | B | | |
| | (成果と課題) ○ 校内研修の充実により、タブレット端末の活用やねらいを明確にした授業を共通実践することができた。 ○ 今年度新たに「けてぶれ」学習法を家庭学習に導入し、主体的な学習習慣の確立に努めた。 ○ 生徒会の「一万ページ運動」により、読書に対する関心意欲は高まっているが、読書習慣の定着には至っていない。 | | | | | |
| (改善策等) ○ 「けてぶれ」学習法を継続するとともに、その成果を保護者にも積極的に発信していきたい。 ○ 「一万ページ運動」を更に盛り上げるための工夫を行うとともに、学級活動等で読書の意義等の啓発を行っていきたい。 | | | | | | |
| 評価項目 | 評価小項目 | 評価の観点 | 評価資料 | 評価 | 評価 | |
| 生徒指導の充実 | ① 規範意識の向上 | 規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。 | ・教師アンケート | A | A | |
| | | | ・保護者アンケート | A | | |
| | | | ・生徒アンケート | A | | |
| | ② 児童生徒の健全育成 | 児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。 | ・教師アンケート | A | A | |
| | | | ・保護者アンケート | A | | |
| | | | ・生徒アンケート | A | | |
| | | | ・保護者アンケート | B | | |
| | ③ 基本的な生活習慣の徹底 | 基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。 | ・教師アンケート | A | A | |
| | | | ・生徒アンケート | A | | |
| | | | ・保護者アンケート | A | | |
| | ④ 自己肯定感等 | 自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。 | ・教師アンケート | A | B | |
| | | | ・生徒アンケート | C | | |
| | | | ・保護者アンケート | A | | |
| | (成果と課題) ○ 家庭や地域の理解と協力を得ながら、生徒は落ち着いた学校生活を送ることができている。 ○ 様々な行事や活動を通して、生徒は充実感や達成感を味わっている。しかし、自分に自信が持てなかったり、ネガティブに考えたりする生徒は少ない。(自己肯定感:68.6%、自己有用感:74.1%) | | | | | |
| | (改善策等) ○ 今後も自己肯定感や自己有用感が実感できる取組を充実させ、振り返りの時間にしっかりと自分を見つめさせたい。また、生徒に寄り添った生徒指導を充実させ、一人一人のよさをしっかりと伝えていきたい。 | | | | | |

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

| 評価項目 | 評価小項目 | 評価の観点 | 評価資料 | 評価 | 評価 | |
|---|---|---|--|--|----|-----------------------------------|
| 働き方改革 | ① | ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがい重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、 <u>教職員の意識改革</u> に努めた。 | ・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用 | D D | D | |
| | ② | 働きやすい環境づくり 新型コロナウイルス感染症5類感染症への移行後の業務改善に向けて、教育活動の回復や精選に慣例にとられないことなく取り組んだ。 | ・教師アンケート | A | A | |
| | | 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。 | ・教師アンケート | B | B | |
| ③ | 他の教職員のサポート体制の充実 「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。 | ・教師アンケート | A | A | | |
| <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員間のコミュニケーションが図られ、得意分野で力を発揮し、苦手分野はカバーし合うことができた。 ○ 業務改善は進んでいるものの、新たな取組に挑戦していることもあり、依然として時間外勤務が多いという現状がある。また、例年にはない業務(全国中学校体育大会関係の出張、工事関係の会合等)もあり、かなりの負担となっている。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒と関わる時間や授業改善のための時間等は十分に確保し、それ以外の業務はできるだけ簡素化する方向で改善していきたい。また、PTAや学校運営協議会の協力も得ながら、教職員の負担軽減への取組を考えていきたい。 | | | | | | |
| 評価項目 | 評価小項目 | 評価の観点 | 評価資料 | 評価 | 評価 | |
| 地域との連携 | ① | 全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 | ・教師アンケート | A | A | |
| | | 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。 | ・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート | A A A | | |
| | | ② | 情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。 | ・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート | | A A A |
| ③ | | | | 来校・相談体制 保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。 | | ・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート |
| <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ PTAの会や学校運営協議会の活性化を図ることができた。PTAでは、臨時の三役会を開き、喫緊の課題について協議することができた。学校運営協議会では、生徒会役員を交えて熟議することができた。 ○ HPの更新、文書の発行、メール配信等により、教育活動に関する情報を積極的に発信することができた。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も、PTAや学校運営協議会の充実を図り、家庭や地域との連携強化に努めたい。 ○ 来校者への挨拶や声掛け、電話対応など、全教職員で研修の機会を設け、レベルアップに努めたい。 | | | | | | |

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満